

2025年1月24日（金） 副反応検討部会と 安全対策調査会の合同会議



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

ひと、くらし、みらいのために

↑ ホーム

▼ 本文へ ▶ お問い合わせ窓口 ▶ よくある御質問 ▶ サイトマップ ▶ 国民参加の場

Google カスタム検索 🔍 検索

テーマ別に探す 報道・広報 政策について 厚生労働省について 統計情報・白書 所管の法令等 申請・募集・情報公開

↑ ホーム > 政策について > 審議会・研究会等 > 厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会) > 第105回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和6年度第10回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催） 資料

第105回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和6年度第10回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催） 資料

令和7年1月24日（金）
15:00～18:00
WEB会議（厚生労働省共用第8会議室）

PDF 議事次第 [54KB] 

▶ 政策について

- ▶ 分野別の政策一覧
- ▶ 組織別の政策一覧
- ▶ 各種助成金・奨励金等の制度
- ▼ 審議会・研究会等

▶ 審議会・研究会等開催予定一覧

厚労省「HPVワクチン接種後に生じた症状」への 協力病院を指定



ホーム

本文へ ▶ お問い合わせ窓口 ▶ よくある御質問 ▶ サイトマップ ▶ 国民参加の場

Google カスタム検索

検索

テーマ別に探す

報道・広報

政策について

厚生労働省について

統計情報・白書

所管の法令等

申請・募集・情報公開

ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 健康・医療 > 健康 > 感染症・予防接種情報 > 予防接種情報 > ヒトパピローマウイルス感染症（HPVワクチン） > ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関について

健康・医療

ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関について

協力医療機関とは

HPVワクチンの接種後に生じた症状について、患者へより身近な地域において適切な診療を提供するため、各都道府県において協力医療機関が選定されています。

[PDF](#) [（参考）令和4年6月6日一部改正「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関の選定について」（健康課長通知）](#) [\[PDF形式：57KB\]](#) [📄](#)

協力医療機関リスト

協力医療機関の選定状況は、[PDF](#) [「協力医療機関リスト」](#) [\[PDF形式：197KB\]](#) [📄](#) をご覧ください。

※HPVワクチンを接種した後に、気になる症状が出たときは、まずは接種医療機関など、地域の医療機関にかかっていただくようお願いいたします。

※協力医療機関の受診については、接種を受けた医師又はかかりつけの医師にご相談ください。

※HPVワクチン接種に関する一般的なご相談は、「感染症・予防接種相談窓口」にお問い合わせください。

政策について

▼ 分野別の政策一覧

▼ 健康・医療

▶ 健康

▶ 食品

▶ 医療

▶ 医療保険

▶ 医薬品・医療機器

▶ 生活衛生

▶ 水道

接種勧奨再開後、
毎月の新規受診者数を研究班で調査

第100回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、
令和5年度第15回薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会

資料3-3

2024(令和6)年1月26日

令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)

「HPVワクチンの安全性に関する研究」

(研究代表者：岡部信彦)

国立成育医療研究センター 政策科学研究部
竹原健二・山本依志子

新規受診患者が500人を超えて。。

第102回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副会長検討部会、令和6年度第4回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会安全対策部会資料 3-2
2024(令和6)年7月29日

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)

「HPVワクチンの安全性に関する フォローアップ研究」

(研究代表者：岡部信彦)

国立成育医療研究センター 政策科学研究部
竹原健二・山本依志子

| 2022年度 | 3月分 | 63 | 99,003 | 47 | 5 | 1 |
|--------|-----|---------|--------|----|----|---|
| 4月分 | 62 | 65,466 | 33 | 6 | 0 | 0 |
| 5月分 | 67 | 72,324 | 35 | 6 | 1 | 0 |
| 6月分 | 66 | 121,807 | 45 | 9 | 0 | 0 |
| 7月分 | 65 | 140,073 | 45 | 13 | 1 | 0 |
| 8月分 | 66 | 193,107 | 47 | 15 | 32 | 9 |
| 9月分 | 69 | 159,885 | 54 | 15 | 39 | 7 |
| 10月分 | 65 | 155,356 | 53 | 18 | 35 | 7 |
| 11月分 | 69 | 125,470 | 57 | 16 | 41 | 7 |
| 12月分 | 69 | 113,542 | 52 | 9 | 43 | 5 |
| 1月分 | 65 | 99,641 | 42 | 14 | 28 | 8 |
| 2月分 | 69 | 109,865 | 46 | 6 | 40 | 3 |
| 3月分 | 67 | 216,905 | 57 | 10 | 47 | 7 |

※1 9価ワクチンを含む ※2 1ヶ月内の複数回受診は1人ごカウント ※3 新規患者のみ対象

2022年度
新規受診患者
137人

| 2023年度 | 4月分 | 67 | 197,007 | 29 | 8 | 1 |
|--------|-----|---------|---------|----|----|----|
| 5月分 | 62 | 90,551 | 34 | 5 | 0 | 0 |
| 6月分 | 64 | 143,330 | 56 | 18 | 4 | 0 |
| 7月分 | 64 | 143,566 | 40 | 10 | 0 | 0 |
| 8月分 | 63 | 210,165 | 57 | 13 | 0 | 0 |
| 9月分 | 63 | 120,944 | 56 | 21 | 1 | 0 |
| 10月分 | 62 | 124,802 | 42 | 5 | 0 | 0 |
| 11月分 | 64 | 120,015 | 54 | 18 | 36 | 14 |
| 12月分 | 63 | 108,001 | 51 | 19 | 32 | 9 |
| 1月分 | 62 | 109,953 | 37 | 9 | 28 | 7 |
| 2月分 | 59 | 114,705 | 49 | 12 | 37 | 4 |
| 3月分 | 60 | 216,544 | 40 | 8 | 8 | 4 |

※1 9価ワクチンを含む ※2 1ヶ月内の複数回受診は1人ごカウント

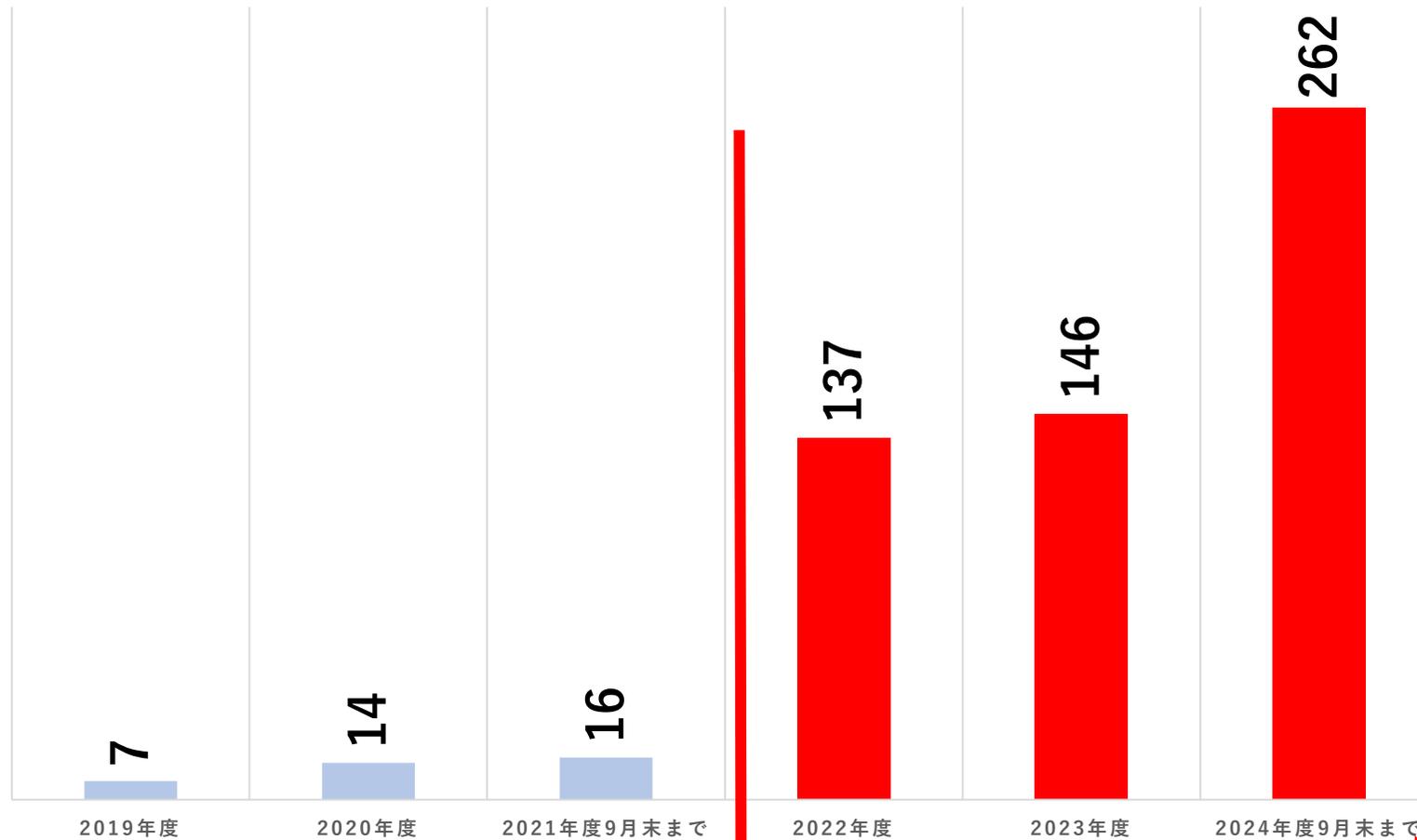
2023年度
新規受診患者
146人

| 2024年度 | 4月分 | 57 | 175,445 | 44 | 13 | 0 |
|--------|-----|---------|---------|----|----|----|
| 5月分 | 57 | 123,566 | 40 | 12 | 0 | 0 |
| 6月分 | 51 | 176,133 | 61 | 24 | 0 | 0 |
| 7月分 | 52 | 280,804 | 60 | 19 | 41 | 15 |
| 8月分 | 51 | 571,426 | 64 | 24 | 40 | 16 |
| 9月分 | 53 | 550,013 | 85 | 43 | 42 | 36 |
| 10月分 | 60 | 552,795 | 111 | 57 | 54 | 32 |
| 11月分 | 57 | 597,151 | 104 | 49 | 55 | 31 |
| 12月分 | 43 | 550,555 | 68 | 21 | 47 | 12 |

2024年度
新規受診患者
262人

新規受診患者数
勧奨再開後33か月で
545人

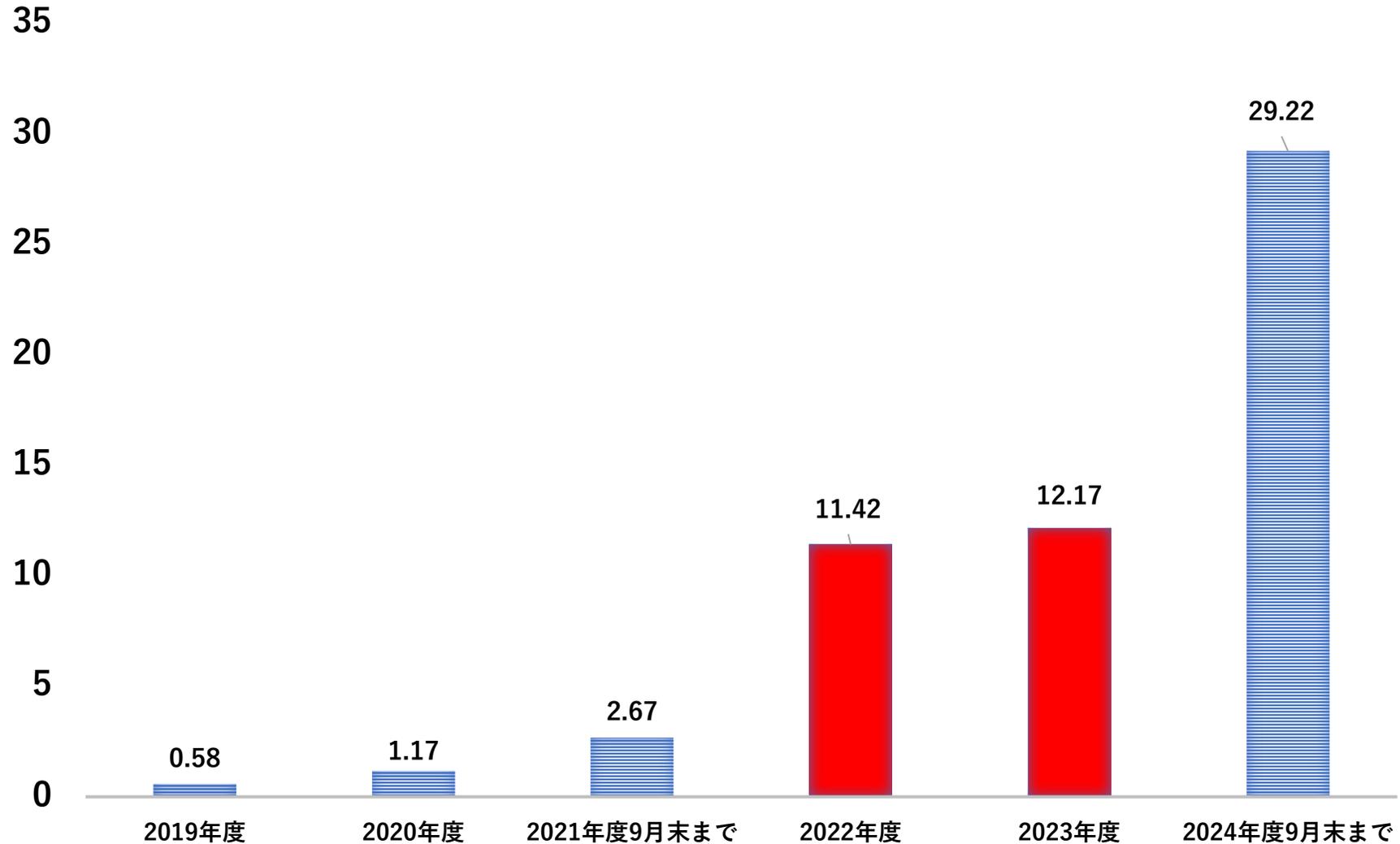
協力医療機関の新規受診患者数の変化



積極的勧奨再開後

推計接種者 約2万人 約3万人 約15万人 約53万人 約60万人 約106万人以上

協力医療機関の新規患者数・月平均値



1月24日合同会議で報告された 協力医療機関を訪ねた人のデータ（一部のみ）

ブロック拠点病院を受診した患者44人のデータ

44人中37人が1ヶ月以内の発症

自覚症状

- 疼痛及び感覚（光・音・におい）の障害 25人
- 運動障害 17人
- 自律神経障害 11人
- 認知機能障害 1人

他覚所見あり、または検査異常あり 17人

- 関節の可動制限、筋力低下、紅斑など

つけられた診断名

- 急性散在性脳脊髄炎もしくは多発性硬化症 1人
- 失神発作、起立性低血圧、不安神経症疑い
- 右肩甲下筋腱板炎、右小円筋腱板炎
- ワクチン接種後肩関節障害 など いずれも 1 人ずつ

1月24日合同会議で報告された
協力医療機関に来た人のデータ（一部のみ）

ブロック拠点病院を受診した患者44人のデータ

治療

薬物療法（プレガバリン、NSAIDs、アセトアミノフェン、漢方薬）、認知行動療法的アプローチ、運動療法

3か月以上経過をフォローできたのは半分（22人）だけ

そのうち36%（3人に1人）は治っていない

症状が持続していることが確認できた症例：8人

改善例が半数以上いると報告したが、彼らのいう改善は「症状は続いているものの、学校や仕事に行けるようになった人」も入っている可能性が高い 過去の牛田班報告から推測